



事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		厳しい財政事情も考慮しながら、社会教育活動や学習が快適に実施できるよう配慮しなければならない。										
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	C	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	施設の維持管理費については、利用状況を考慮のうえ法定点検のみにする等、必要最小限にするよう努めた。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	2							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	2							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3							
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	2							
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	2							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 野中ふれあい館は民俗資料保管施設として活用し、下瀬ふれあい館は解体の方向であるが財源の目途が立つまで現状のまま継続する。					
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上らず、効率的な手段の見直しが必要である。	3								
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3								
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3				合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の方向性	いづれの施設も耐震に問題があり、利用率も低い。施設の再配置計画の中での検討が必要。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	2							
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3								
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3								
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3								
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	所属長の課題認識						
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上らず、効率的な手段の見直しが必要である。	3									
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
			低評価（判定）のため行政評価委員会に諮る。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p><b>答申の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気も水も使用できる状態なのにもったいない。廃止まで使う考えなら、何かしら活用方法を考えなければならない。</li> <li>・地理的な課題があり、伊予市全域で利用できるものではない。早く廃止したいという感じが伝わってくる。</li> <li>・ホームページに写真しか掲載がなく、どのような使い方ができるか全く想定できない。情報発信の仕方を工夫すべき。</li> <li>・終着点を決めて、年々計画を立てて進めていかないと、毎年同じ課題が記載されるだけで一歩も進まない状況になる。</li> <li>・地域には地域の集まる場所が別にある。市外の人達が使用できる方法を考えるべきである。</li> <li>・野中ふれあい館の民俗資料を、例えば中山小・中学校の空き教室へ移設できないか。その方が、子供たちの教育に活用したり、地域の人に見てもらったりする機会をより多く提供できる。</li> <li>・お荷物感があるというのが偽らざるところ。貸し出しを止める考えがあるなら、行政財産の縛りを解いて、普通財産化への道を模索する方が良い。50数万円とはいえ、市民の血税である。非常にもったいない。</li> </ul>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄 施設の利用回数も少なくなっており、今後は行政財産から普通財産へ移行させ、休止・廃止に向けた取組を進めること。
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	